

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU CHARTERED 1995



2017~2018年度 No.220

5月 月報

那須クラブ会長 主題
拓こう 築こう ワイズの世界

強調月間：EF/JEF

那須ワイズメンズク



4月(植樹例会)例会

2017~2018年度 主題
 国際会長：(IP) Henry J Grindheim (ノールウェイ)
 「ともに、光の中を歩もう」
 アジア地域会長：(AP) Tung Ming Hsiao(台湾)
 「ワイズ運動を尊重しよう」
 東日本区理事：(RD) 栗本 治郎(熱海)
 「広げよう ワイズの仲間」
 北東部長：鈴木 伊知郎(宇都宮東)
 「距離に負けるな北東部、各クラブの個性を磨きましょう」

クラブ役員 事務局
 会長：田村 修也
 副会長：村田 榮子
 河野 順子
 書記：藤生 強
 会計：村田・鈴木
 担当主事：藤生 強
 ブリテン：田村・村田

4月例会データ(出席率：83.3%)
 在籍者 6名
 例会出席者 3名 メネット 1名
 メイクアップ 2名
 ゲスト：29名

今月の聖句
 正しい父よ、世はあなたを知りませんが、わたしはあなたを知っており、この人々はあなたがわたしを遣わされたことを知っています。

ヨハネによる福音書 17:25

5月 Happy Birthday

なし

巻 頭 言

とちぎYMCAグループの4月に行われた人事異動において、那須YMCAのスタッフ体制が変わりましたのでご報告いたします。那須ワイズ担当主事については内海から藤生に、那須YMCAプログラム担当については荒井から平山にそれぞれ変わりました。2018年度もどうぞよろしくお願いいたします。

内海 退職あいさつ

3月31日をもってとちぎYMCAを退職いたしました。那須ワイズ担当主事としては1年間と短い期間ではありましたが、いつも那須YMCAをお支えいただいているワイズを始めとする皆さまには大変お世話になりました。

今後は、途上国における子どもの支援と未来を担う日本の青少年育成を事業とするNGOに勤務します。アジアに赴いて現地で働きたいという予てからの思いがあり、この度挑戦することに決めました。那須のみなさまには応援と共に送り出していただき、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。離れてもミッションの目的地は同じところにあると思いますので、これからも共にあれたいと思います。那須ワイズメンズクラブならびに那須YMCAの益々の発展をお祈り申し上げます。

内海 研治

藤生 着任あいさつ

4月より那須ワイズ担当主事となりました藤生（ふじう）と申します。那須ワイズがチャーターして半年後の1996年4月から1999年3月まで担当主事として関わって以来の再担当となります。以前の担当時には「那須にYMCAを！」という願いの基、ワイズの皆さまからお知恵頂き、色々な方々をご紹介いただき、「ボランティアスクール」や「野外グループ活動・地球探検隊」をスタートいたしました。そして1997年にはワイズの皆さまとの協同によって「那須YMCA」を設立いたしました。

那須を離れて以降は、とちぎYMCAグループ3法人内を異動し、現在は特養マイホームきよはらのあるとちぎYMCA福祉会に所属しております。とはいえ久しぶりの那須！ではなく、実は2002年度より国際医療福祉大学と那須YMCAが共同でスタートさせた「子どものグループ活動」を担当しており、年に15回程度大学を会場に活動を行っております。

那須YMCAの発展のため、ワイズを始めとする多くの皆さまにご指導ご支援のほどよろしくお願いいたします。

藤生 強

荒井 退任あいさつ

今年4月より、宇都宮市青少年活動センター（トラ

イ東）に異動となり、5年間担当した那須YMCAを離れることとなりました。5年前のプリテン（2013年5月号）に書かせて頂いた「配属のご挨拶」を読み返し、那須YMCAそして那須ワイズメンズクラブでの働きを振り返りました。

この5年間、ワイズメンズクラブの皆様のお力添えがあったからこそ、那須YMCA、那須ワイズメンズクラブの活動の幅を広くすることができました。時には私を導いてくださったり、時にはお叱りを頂いたり、時には共に笑い、時には共に喜ぶ5年間は、皆様への感謝の気持ちで一杯です。また、西那須野幼稚園の子どもたちや先生方、アジア学院の方々、英会話教室の子どもたち、地域の方々などとの出会い、繋がることのできたのも感謝しております。4月からはトライ東に異動となりましたが、この5年間の経験を糧に、とちぎYMCA入職から6年目への歩みを始めていきたいと思っております。5年間、どうもありがとうございました。

荒井 浩元

平山 着任あいさつ

今年度よりとちぎYMCAに入職し、那須YMCAプログラム担当になりました平山雄大（ひらやま・たけひろ）『のりしおリーダー』と申します。大田原市滝岡の実家に住んでおり、家ではお米を作っています。YMCAとの出会いは大学1年生の時にはじめてボランティアリーダーとして参加したシーズンキャンプでした。それから大学4年間そして社会人として4年間、リーダーとして野外活動や健康教育に関わらせて頂いてきました。これからはスタッフとして今まで学んできたことや経験を基に、『地元に住んでいる』強みを生かして、那須YMCAの発展や地域コミュニティ活性化のため尽力していきたいと思っております。

那須YMCAでは、西那須野幼稚園の「年中、年長及び放課後の学童クラブの運動遊び」と土曜日開催の「サタデークラブ」、那須YMCAのリーダーを中心とした「野外活動Yキッズ」の担当になります。それに伴うボランティアリーダー会を国際医療福祉大学や那須YMCAの事務所で毎週木曜日に行っています。たくさんの方々にとって那須YMCAとの出会いが、実り多きもの、となるよう、1日1日を大切に、準備と実施を行っていく所存です。若輩者ですが今後ともよろしくお願いいたします。

平山 雄大

4月（植樹）例会

会長 田村 修也

日時： 4月28日（土）午前10時～

場所： 日光国立公園那須街道赤松林

参加者：メン：3名、メネット：1名、ゲスト：29名

鮮やかな緑よ明るい緑よ 鳥居をつつみ
わら屋をかくし 薫る薫る若葉が薫る。
爽やかな緑よ豊かな緑よ 田畑をうずめ
野山をおおい そよぐそよぐ若葉がそよぐ。

思わず懐かしい歌を口ずさんでしまう程爽やかなゴールデンウイークの初日の朝。まさに植林日和。事前に福島県石川町の建設会社の社長ご夫妻が、塩那森林管理署のホームページを見て、署へ参加の可否の問い合わせがあり、連絡を取り合って是非参加をとお願いしてありました。そのためメネットに急かされて、早めに家を出て植林会場へ急ぎました。那珂川河畔の樹林帯にはあの魅力の樹花ウワミズザクラが、ボトルブラッシのような純白の集合花を咲かせていました。会場に着きますと、国有林の方々には既に到着して準備を整えて待っていてくれました。吉田夫妻も既に到着していました。今回は着任早々でご多忙の所、署長さんも参加されました。更に7月から担当主事となる藤生さんがYの活動メンバーである高校生と中学生各1名と共に参加。GS栃木県第34団からは、伊藤リーダー他17名が参加。

会長挨拶の後、吉江指導官の司会で、山口署長挨拶、池田専門員の説明、古口担当区主任の植林の実地指導で植林開始。今回は植林地に6本の支障木があり、伐採の初体験があり、伐倒した木の枝や幹を植林の妨げにならない所へ持ち運んでからの植樹活動でした。植えた苗木はアカマツの3年生ポット苗。苗木が確実に大地に根が付くように、しっかりと穴を掘り埋め戻し、周りをしっかりと踏み固めてから、竹の杭に名前と年月日を書いてさし込み完了。毎年参加されている皆さんなので、あっという間に植え付けは終わってしまいました。

その後はGSを中心に、吉江指導官が心を込めて準備された木工クラフト。既に輪切りされ乾燥された円板に、思い思いの装飾を施してペンダントやインテリアアクセサリを楽しみました。

また植林後のオプションとして、那須疏水の史跡と那須野が原開拓の歴史探訪を準備していただきましたので、ワイズとゲスト、Yの活動メンバーは途中からそちらに出かけました。会場の赤松林を縦貫する那須街道は、連休の行楽客の車で渋滞中。途中コンビニで昼食を調達して、車の流れの切れ目を待って、4台の車が続けて走れるようにして出発。渋滞を避けて左折し、開通間もないりんどう大橋を渡って西岩崎の那須疏水取入れ口の駐車場へ。車両止のある坂道を下って、道行に樹木のガイドをしながら那須野が原の母なる川、那珂

川の河畔へ到着。手入れの行き届いた芝生広場の東屋で昼食タイム。一同が顔をそろえた所で、準備した資料で那須野が原開拓と那須疏水の歴史の説明をする。吉田社長は歴史に詳しく、明治になって初めて開鑿された安積疏水の話をして、郡山市は安積疏水が出来るまでは水がないために小さな旧街道の宿場駅に過ぎなかった。その後疏水による水の安定供給により現在の様に発展することが出来たと話されました。疏水は食料の安定供給と就農促進に始まって、小集落を大都市にまで形成まで発展させる力があることを改めて知らされました。昼食の後水門、隧道、本幹、第1分水を見て、次回の続きを楽しみに解散。将来画業を志望している高校生は蛙が好きとのことで、疏水公園にいる様々な蛙を見つけては楽しんでいました。また何時も那須疏水の事務所から発注を受けて製作している鋼製の分水板が、第1分水のすぐ下流で設置されて機能しているのを見て、メネットが感動してスマホで写真を撮っていました。緑のそよ風に吹かれて、充実した例会を楽しみました。

今後の予定

・5月役員会（第2例会）

日時：5月2日（水）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：5月例会（YMCA報告会）、6月例会、5月号ブリテンの発行等。

・5月第1例会（YMCA報告会）

日時：5月25日（金）午後6時30分

場所：西那須野教会1階ホール

内容：「那須YMCAの現状報告と将来展望」

会費：500円（メンバーのみ）。YMCAの会員、ユースリーダーは招待。

連絡先：田村会長（090-5545-6763）

・6月役員会（第2例会）

日時：6月1日（金）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：6月例会、次年度計画、6月号ブリテンの発行等。

・第21回東日本区大会

日時：6月2日（土）午後1時～

場所：沼津「プラサヴェルデ」

5月第2例会（役員会）報告

日時：5月2日（水）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

出席者：田村会長、河野副会長、村田副会長、藤生、田村メネット、塩澤総主事、平山主事、

協議事項

1. 4月（植樹）例会についての反省

福島（石川町）からのご夫妻の参加者があり、YMCAのメンバー2名の参加があり、那須疎水を見学できた。伐採する初めての経験もできた。新しい出会いがあった。秋の植樹例会は、“オオタカの会”と合同で行うことになる（10/27）。

2. 5月例会について

5月25日（金）午後6時30分～、会場は西那須野教会、塩澤総主事を囲んで「那須YMCA活動報告・将来計画」、YMCAのメンバーとユースリーダーに呼び掛ける。夕食は、カレー。準備は、田村有希子さんに依頼。会費は500円。お米とじゃがいもは村田が準備。釜はYMCAで準備。

3. 新年度に向けて

標語は“地域へつなげ那須ワイズ”

4. 5月ブリテン発行について

いつも通り早い目をお願いします。

5. 6月例会について

東日本区大会に参加。村田メン、メネット。

チャリティーラン、6月24日（日）、ろまんちっく村で開催。那須ワイズとしては、20,000円の協賛金。シイタケ昆布の販売。

6. その他

・次年度の北東部部会は、9月22日（土）、仙台ワイズの70周年記念式も行う。

・東日本区大会での部長報告に使う写真は、クリスマス例会。

旧西那須野（那須西原）の緑と水（第61回）

会長 田村修也

陳情先の三条実美（さねとみ）について少々道草をしてみました。次の陳情者に移ります。大久保利和です。明治維新の立役者の一人である薩摩藩士大久保利通の息子で、牧野伸顕の兄で侯爵。明治21年（1888）那須開墾社の株主となり119町歩余の土地配分を受けて、大久保農場を設立。小作人を移植して農耕、植林を進めましたが、明治30年代になって、二区、三区の70余町歩を矢板武に譲渡した後、残りの40余町歩も分割売却して、大久保農場は消滅

していきました。

鍋島幹は、慶應4年（明治元年1868）真岡県知事となって下野の国・栃木県に着任します。肥前藩（佐賀県）鍋島道大に従って官軍として各地を転戦。明治4年（1873）廃藩置県の制度によって、日光県、宇都宮県、栃木県と目まぐるしく変遷する中で県令を勤めました。明治13年まで栃木県令として活躍しました。印南さん、矢板さんとは明治9年（1876）地租改正説明のため大田原宿で会合を開いた際に、那須野が原運河構想を打ち出したことは既に書いた通りです。その後元老院議員となり男爵を授けられています。明治18年（1885）那須疎水が竣工して、その通水式には出席出来ませんでした。またその後の那須開墾社の成業式にも出席できませんでしたが、お祝いの漢詩を届けています。

金井之恭は、上野国（群馬県）島村の出身で金井烏州の3男。勤皇の志が厚く、慶應3年（1867）、新田義貞の末裔新田満次郎を擁して同志68名と倒幕の兵を挙げようとしたが、事前に発覚して捕らえられ、岩鼻の獄に投獄されました。明治元年（1868）に放免されて、官軍に従い東北各地を転戦しました。明治2年に制度寮行政官の録事となり、権少内史、内閣大書記官、元老院議官を歴任、元老院が廃止になり、錦鶏間祇候を仰せつけられ、明治24年（1891）に貴族院議員となりました。明治天皇に書で仕えた方で、日本書道会、書道奨励会の会長を歴任し、高野長英の碑、北条時宗の偉功碑、山田方谷の遺蹟碑等全国に150基以上の碑を残しています。その中の1つに、印南丈作の顕彰碑がありますので、後日紹介いたします。私たち西那須野教会員にとりましては、教会創設者の田嶋弥三郎が親戚であったので、明治23年に那須開墾社の株主になっていた金井之恭の持株を分けてもらい、開拓者になることが出来たので、西那須野教会百年史にも写真付きで記載されています。

田嶋弥三郎の妹の夫である田島源三郎は金井烏州の直系で、田嶋父子が明治23年11月に西那須野駅に降り立った時に、同行しています。数年後に同じ烏州の家から田島綏一家が開拓に入ります。現在の当主は高校同級生の田島正道兄ですが、兄の家には烏州の書画が数点所持されていると本人からお聞きしたことがあります。数年前、市内の古道具屋で一幅の掛軸を見かけました。金洞仙史と書かれ落款もありました。あまり貧弱な表装なので気にもしませんでした。確認のため西那須野教会の金井之恭の篆書による「倍因會堂」の落款を写して、掛軸の落款と比べてみました。おおむね同じと思えたので、それなりの価格で購入してきました。その後書道塾を開いている友人に鑑定を

依頼しました。友人はその筋を通して金井之恭の出身地である境町の教育委員会の方に読んでもらうことが出来ました。金井之恭の書に間違いのないだろうと言うことでした。書には七言絶句で「天置碑材海濱 峨々落々簇如雲 石而有識応相語 平日災吾莫乃君」根府川途上戯作 金堂仙史 印 印」と書かれてありました。読み下しは「天は碑材を海濱に置き、峨々落々として 簇ること雲の如し。石にして識有らば 応(まさ)に相語べし、日々に平らかなるは 災いは吾に 乃(すなわ)ち君には莫(な)かれと」となります。金井之恭の書は楷書が多いとのことですが、この掛軸は草書の書です。回答下さった方は、次のような注釈を添書きしてくれています。根府川は神奈川県小田原市根府川。板石や石碑の産地として知られている。田島弥平旧宅北門入口にある巨大な「田島弥平殖産興業碑」(世界遺産に登録された富岡製糸場と絹産業遺跡群の1つ。優良な蚕種を生産する養蚕技法「清涼育」を体系的に完成させ、模範となる養蚕に適した蚕室を発案し、近代養蚕育成法の確立を図った。住宅は県内最大級の養蚕家屋)が根府川石を使っている。その碑石は東京湾を經由し利根川を遡って運ばれたという。「根府川途上戯作」とあるのは、碑文を之恭が書いていることから、或いは之恭が根府川を訪れ、弥平の石碑材と対面した際に作った詩とも考えられる。(また横道に深入りしてしまいましたが、今回は河田景与から始めます)。

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園
理事長・園長 福本光夫
新緑がまぶしくなりました。

この前まで園庭には更生保護女性の会の皆様と現年長組の子どもたちが球根をプランターに植えたチューリップが、花を咲かせてくれていました。同様に、烏が森公園では、西那須野ロータリークラブの皆様と現1年生が植えたチューリップも花を咲かせてくれました。

私の好きな歌の1つに「世界に一つだけの花(槇原敬之作詞・作曲)」があります。この歌詞は、

「小さい花や大きな花
一つとして同じものはないから
NO.1 にならなくてもいい

もともと特別な Only one」で終わります。この歌は、しばしば子どもの育ちに引用されます。同じ花の歌で、幼稚園の子どもたちの好きな「チューリップ(近藤宮子作詞)」があります。

「さいた さいた チューリップの花が
ならんだ ならんだ 赤 白 黄色
どの花みても きれいだな」という誰(だれ)でも知っている歌です。改めて考えてみると、この短い三行の中にも、子どもの育ちについての深い意味をくみ取ることができるのではなでしょうか。チューリップが育つ条件はいろいろあります。太陽と雨は同じ条件だとすると、それぞれの球根が成長するためには、土の環境が大切です。子どもの育ちで考えると、土が親であり、幼稚園生活であり、地域であり、自然です。残念ながら、地域社会は崩壊し、自然は消失していません。だからこそ、神様、親、そして教師の「愛」という養分が必要です。私はYMCAの活動を地域親という愛として期待しています。こどもは親が芽を剪定(せんてい)する盆栽であってはならないと考えます。今、園のプランターには、パンジーが様々な色の花を咲かせています。子どもたちもそれぞれの素晴らしい花を咲かせてほしいと願います(しらゆり 2018. 4. 27 加筆修正)。

第3回北東部評議会の報告

副会長 村田 榮

4月21日(土)午後1時から、とちぎYMCA(さくらんぼ幼稚園)で開催された評議会に那須クラブより、村田が参加した。参加者は、10クラブより17名と少し少なかった。

内容は、部長活動報告、各事業主査・クラブの報告があり、光伸プランニングで作成された北東部のバナーが東日本区大会でお目見えます。協議事項としては、次々期の部長として鈴木伊知郎現部長を指名した。次々期の部会開催は、2019年7月19日(金)から仙台で開催されるアジア太平洋地域大会の時に開催することが決まりました。次年度の北東部部会は、9月22日(土)に仙台ワイズ70周年記念式とともに開催されます。ぜひ参加したいものです。

YMCAだより

4月活動

・那須YMCAボランティアリーダー説明会(国際医療福祉大学1年生対象)を4月19日・24日・26日に行いました。参加してくれた学生は70名になりました! ボランティアリーダーが編集したプログラムのビデオを観たり、体験談など真剣に話を聞きました。後日、リーダー会に参加したり、サタデークラブに新リーダーとして参加してくれるなどの姿が見

られました。一人でも多くの学生がYMCAファンになってもらえればと願います。

・那須YMCAの主活動である西那須野幼稚園での『運動遊び』と『サタデークラブ』の前期は、4月9日の週から始まりました。サタデークラブには 沢山のリーダーが参加しております！

5月予定

・5月13日には那須Yリーダーが中心の「Yキッズ」の第1回目が行われます。活動内容は「とちぎわんぱく公園でのウォークラリー」を予定しています。リーダーたちはテーマや活動内容を考えたり、活動場所の下見に行くなど、積極的に準備を進めてきました。子ども達（メンバー）もリーダーも楽しい一日になってほしいと思います。 (担当 平山)

ユースリーダーのつぶやきコーナー

今月はお休みです。